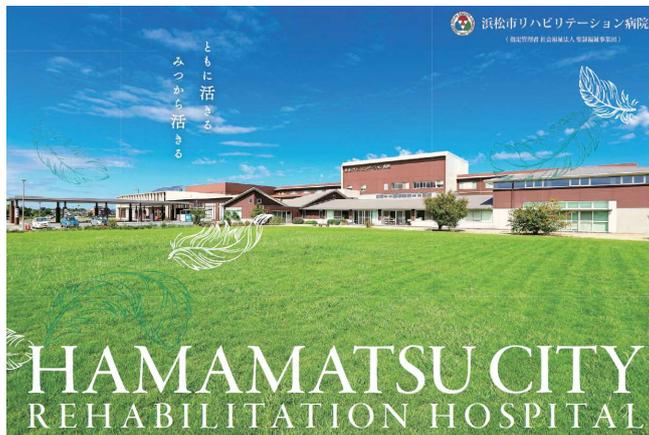


ウェルウォーク通信

～浜松市リハビリテーション病院様 活用紹介～

日頃はウェルウォークをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。
今回は、浜松市リハビリテーション病院様の取り組みについてご紹介致します。

浜松市リハビリテーション病院



【施設の特徴】

- 回復期リハビリテーション、通所・訪問リハビリテーション
- メディカルフィットネス：保険外の自費サービス
- えんげセンター：「口から食べる」をチームで目指す
- スポーツ医学センター：専門的なスポーツのリハビリ
- 高次脳機能センター：社会参加に向けた支援

【基本情報】 浜松市（静岡県）

病床数 225床（回復期180床、一般45床）
脳血管疾患患者 約6割
平均在院日数（脳） 約76日
療法士 200名（PT105、OT70、ST25）

【WW-2000 2台稼動中】

WW運用	導入期間	平均練習患者数	平均練習週数	WW操作可能人数	WW練習単位数
	① 5年3ヶ月 ② 5年2ヶ月	1台につき 約5名/日	約3～4週	PT約80名 (1人で操作可能)	2～3単位/日・人

【WW 2台運用の利点と活用方法】

- 2020年2月と3月に1台ずつ、計2台のWW-2000を導入し、現在、365日2台稼動の運用をしております。
- 予約はシステム上で管理・調整（右図）しており、毎日10人以上の患者が時間調整の負担なく練習できます。また、ロボット脚調整の時間確保やロボット脚の順序（左右交互）を気にせず、「空いている枠」に予約しています。
- 院内でCOVID-19等が発生した際は、病棟ごとに使用時間を区切って対応することで、感染を理由にWWの使用を中止することはありませんでした。
- また、ロボット脚や各種部品の修理交換等が生じた際は、もう1台のWWを活用することでWW運用を止めることなく使用できております。
（* 動画データを2台で共有することはできません。）

< 1日の予約状況 >

1F WW・トレッドミル 2病棟 + 通所
3F WW・トレッドミル 3病棟

療法士 / 場所	1F(ウェルウォーク)	1F(トレッドミル)	3F(ウェルウォーク)	3F(トレッドミル)
日単位	6	5	11	2
時間未定				
8				
9		入院患者	入院患者	入院患者
10	WW(通所)		入院患者	
11	WW(通所)		入院患者	
12				
13	入院患者		入院患者	
14		入院患者		
15	入院患者		入院患者	
16				

ご不明点、ご質問等ございましたら下記メールアドレスまでご連絡下さい。

WW 臨床・運用相談窓口<clinical-ww@mail.Toyota.co.jp>



【熟練度・稼働率の向上の取り組み】

- 部内に「先進医療推進プロジェクト」（左図）を立ち上げ、プロジェクトメンバーを中心に機器使用の熟練度向上・機器使用率の改善を目指しております。
- 導入以来人材育成に尽力しており、苦節5年で約8割（80人）のPTがWW操作ができる状況となりました。
- Welwalkを含む医療機器の使用に関しては、スタッフの熟練度を7段階で評価しています。（下図）まずは、Step4「1人で安全に使用できる」レベルの到達を目指し、最終的にはStep7「〇〇マスター」への育成を推進しています。また、マスター認定者は院内掲示にて氏名を公表しています。
- 脳血管疾患に限らず、運動器疾患の免荷歩行練習や歩行動画撮影にも活用しており、ゲーム機能を含め各スタッフが比較的自由的な発想でWWを活用しているのが当院の特徴です。

マスターシートの基準（先進医療推進プロジェクト）

【目的】 ● スタッフの先進機器の熟練度を見える化する ● 人材育成の評価ツールとして活用する

STEP	基準
1	機器の治療効果・適応を理解できる(機器の説明を受ける、マニュアルを熟読する)
2	機器に触れ、実際に自身で治療を体験することができる
3	指導者とともに、機器を用いた治療を実施できる
4	1人で、安全に機器の使用、実施できる
5	機器を用いた治療を2週間以上実施し、治療前後でその効果を検証できる
6	スタッフへのOJT指導が行える、院内講習会の講師ができる
7	機器及び治療に関する対応（医師からの問合せ、機器トラブルの対応等）ができる

【今後の展望】

- 臨床現場での患者治療以外にも、臨床実習生を対象とした実機体験指導、就職説明会や中高生の社会科見学の際の定番コースとしても人気のコンテンツとして活用しております。
- 今後は、「保険外の自費サービス」でのWW利用を検討しております。